

西日本豪雨被害状況報告（メールでいただいた報告を NCC で PDF 化したものです）

日本福音ルーテル教会

（１）被害状況

【西教区】諸教会、施設関係の人的被害はない。建物も大きな被害はない。

【岐阜教会、大垣教会】教会、信徒の方々に大きな被害はない。

【九州教区】諸教会、施設関係の人的被害はない。建物も大きな被害はない。

以下は NCC 加盟ではありませんが、関係教会の情報ということで、一応お知らせします。

【近畿福音ルーテル教会】、【フェローシップ・ディコンリー教団】教会、信徒の方々に大きな被害はない。

【西日本福音ルーテル教会】玉島教会が床下浸水も現在は問題ない。教会、信徒の方々に大きな被害はない。

（２）当教会における活動状況

西教区（教区長／松本義宣牧師）の下、西中国地区（教区書記／水原一郎牧師）が中心となり、広島教会（伊藤節彦牧師）の要請に応じて活動開始しています。

全国規模では、その活動を支える「連帯献金」を本日より受け付けることになりました。

▶7月10日 15時

竹田大地牧師（伝道部長、下関市在）、甲斐友朗牧師（シオン防府柳井、防府市在）、藤井邦夫牧師（宇部市在）、平岡さん（教育部長、光市在）、國吉さん（女性会会長、山陽小野田市在）、佐伯さん（山口市在）の協力のもとで、広島教会、呉礼拝所から支援品要請がなされた諸物資が徳山礼拝所に集められる。

＜西中国地区から広島教会に運搬した物資の主なもの＞

- ・作業用物資／タオル、軍手、ゴム長手袋、長靴、マスク、絆創膏、麦わら帽子、湿布、雑巾、熱中症対策ドリンク、角スコップ、「熱さまシート」、塩飴
- ・生活用品／飲料水、ポリタンク、使い捨てトイレ、ペットシーツ、簡易食糧、栄養補給ジェル、野菜ジュース、女性用下着

▶7月10日 16時30分

竹田牧師と水原牧師が広島教会へ到着。伊藤牧師より広島教会呉礼拝所の教会員の現況についての説明。

呉市市街地に3名。呉市安浦町に1名が居住。市街地の2名については、もう1人の方（ルーテル保育所職員）が、問安や支援品の配布などの奉仕を担う。この方も7月7日の夜は雨のために帰宅困難であった。3人の居住環境については、浸水などの被害情報はない。

安浦町の方は、床上浸水が7月6日の夜と7月7日朝と2度あり1階部分がほぼ浸水される被害を被った。現在は近くの知人宅に避難され、昨日から泥かき作業を開始する。

今後の作業内容は以下の通り①浸水したピアノの撤去（調律師に依頼済）②浸水した畳の撤去③畳を運搬④1階土間部分の泥かき⑤床下部分の泥かき⑥家財道具の片付け⑦ふき掃除

▶7月11日

午前4時 広島教会女性会有志が教会に集合し、おにぎりを作成。

午前5時 支援物資を載せ、伊藤牧師と広島教会信徒が、呉市安浦町に移動開始。

陸路の渋滞を避け、ボートで現地へ。到着後、ニーズを確定、作業開始。

▶7月13日 呉での支援に入る。

ボート組は、竹田牧師、水原牧師、そして操舵してくださる教会員。被災された方のご自宅にて、状況に応じての作業を行う。フェリー組は伊藤牧師夫妻。江田島経由での陸路を視認し、呉市内地で被災された方々をお訪ねする。なお、ボート組のサポートとして加納牧師が協力。潮の満ち引きにより活動時間が規定されてしまう。

(3) 今後の短期的（1～2週目）対応

呉礼拝所から支援品要請がなされた場合は適宜対応する。労働作業要請については当面は牧師だけで（傷害保険加入済）今後適宜対応する。上記作業財源については西中国地区活動費から当面は支出することとする。基本的には現地のニーズを受けてから行動する。

(4) 岡山・高松・福山教会の情報

砂泥流出の家屋への除去作業は中長期的な課題。教会員からは作業は不要という連絡を受けた。高松教会の大規模雨漏りは、建物の老朽化が根本的原因となっていると思われる。岡山⇄福山間は道路が復旧。福山教会員からは教会設備、信徒宅への被害はなしとの報告を受けている。週末に確認をする予定にしている。また、岡山県は倉敷市以外は落ち着いており、支援の中心は広島に置いてもよいと思われる。

(5) 今後の情報

以下の手段で情報共有を行います。

公式サイト <http://www.jelc.or.jp/>

公式サイト内のニュースブログ <http://jelc-news.blogspot.com/>

公式 Facebook ページ <https://www.facebook.com/jelc.mission>

以上です。

日本福音ルーテル教会

広報室 安井宣生

koho06@jelc.or.jp